

CHALLENGE21



DISABLE
SUPPORT
ASSOCIATION
OF JAPAN

第5号

定価 200円

チャレンジ21 / 1998年8月31日発行 / 第1巻第5号(通巻5号) / 発行: 全国障害者福祉援護協会

地区本部結成、全国組織いよいよ始動開始!

昨年より北海道から九州と全国を巡り、取り組んできました全国障害者福祉援護協会・全国組織はほぼ準備が整い、8つの地区本部31の都道府県支部の大部分でスタートしました。過去2回8地区8名の本部長が神奈川県横浜市当協会事務局で顔を合わせ地区本部長会議を開催。障害者福祉の向上に向けて各地区が何をとり組んでいくかなど具体的な活動計画の検討を行いました。その中でまず、法人会員・個人会員の確保が第一優先課題となり各地区で同じ志をもつ仲間を呼び、「地域のボランティア活動」「講演会」「チャリティイベント」など、できることからできる範囲で活動をおこなっていくという意見が一致しました。今回、8地区本部長の紹介を兼ね今後の抱負を語って頂きました。

少しずつ輪を 拡げていくことが大切

北海道地区本部長 伊藤 正



平成10年1月24日北海道地区本部設立準備のため永田理事長と札幌市内でお会いし、ノーマライゼーションの理念についてのお話を伺い、深く感銘を受けました。その時微力ではありますが当地北海道の福祉活動の根元となるべき事と意を強く持ちました。

その後幾度か協会本部に行くことがあり、その際各地区本部の皆様方との意見交換をする度

にこの活動の難しさとまた大切さを知りました。当活動は決してノルマがあるわけではなく障害者の立場になり少しずつ輪を拡げて行くことが大切であると考えます。今後は全国各地の皆様と共に本協会の北海道地区本部として日々努力を重ねていく所存であります。

地域社会に溶け込む ことから始めたい

東北地区本部長 菅原 岩男



私は現在、木材のプレカット、燻煙乾燥木材、調湿炭等の建築資材を販売しておりますが、バリアフリー住宅、家庭用エレベーターの普及で老人や障害者が住むにはずいぶん便利な住宅になってきていると思います。

しかし、目を社会に向けてみると、例えば歩道に自転車を放置したままだったり、一人一人の意識が無関心で、まだまだ不便な現状です。緑があつて東北地区本部長を仰せつかったこの機会に、身の回りの普通の生活に目を向けて地域社会にとけ込むことから私なりの福祉を始めたいと思います。

広い視野で ボランティア活動を

関東地区本部長 倉持 喜恵子



10年程前から、地域の入浴ボランティアを続けております。このたび本協会より全国組織の設立にあたり地区本部のお誘いがあり、協力させていただこうと思っておりました。

今まで以上に広い視野でボランティアを学び実行していけたらと楽しみにしております。また本協会の発展に微力ではありますが努力してゆきたいと思っております。

少しでも障害者の 力になれれば

中部地区本部長 岡本 忠司



私は石川県を拠点に携帯電話ショップを経営しております。このような商売をしていても、身体の不自由な方と接する機会が、日常、多々あります。

最近では、携帯電話もPHSも文字サービスを導入していて、手軽に安く文字を送受信できますが、やはり一番必要としているのは耳やこばの不自由な方たちです。このような方々に携帯電話を契約して頂くたびに、なんとか障害者の方々の通話料金・基本料金を国が負担してくれないものかと思ってきました。私個人の方では、せいぜい私の店に買いに来

られた方々の電話機本体代金をサービスしてあげることしかできません。これはほんの一例ですが、これからは少しでも障害者の方たちの力になれば、と思っております。

まずは地元を基盤に 行動していく

関西地区本部長 木村 敏夫



本年度より、関西地区本部長として福祉活動に取り組みお手伝いをさせて頂くことになりました。なにかからやってみようという気持ちから、まず地元寝屋川市を基盤に多くの方々と話し合い、足がかりをつけてから関西地区としての役割を考え行動していきたいと思っております。

ノーマライゼーションの理念にのっとり頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

無理をせず一歩二歩の行動が大切

四国地区本部長 三宅 巖



昨年暮れ永田理事長とお会いし、本協会の活動理念や趣旨を伺い四国地区本部長を引き受けることになりました。私はもともと障害者福祉には強い関心をもっており、何か役に立つことがあれば行動を起こしたいと思っていたところでしたので、これもなにかの縁と痛感しております。

できることから無理をせず一歩二歩行動を起こし、本協会の理念に掲げている「ノーマライゼーション」の普及に努めていきたいと思っております。

草の根的存在として

努力していきたい

中国地区本部長 妹尾 基司



「ノーマライゼーション」の理念に強く惹かれ、今般障害者福祉に携わることになりました。

県や市の福祉課の方々や、その紹介

でお会いする障害者団体の代表の方々とお話しする機会を得、本協会の趣旨とともにデジタル衛星放送、メモ電話などの情報をできる限り正確に、一人でも多くの障害者の方々に知っていただきたい。と願っております。そのため草の根的存在として努力していく所存であります。

ノーマライゼーションの理念に基づき活動を

九州地区本部長 川原 光義



私の本協会を知りましたのは友人を通じてです。

私自身福祉に対して関心はありましたが、実際に活動したことはありませんでした。今回九州地区本部を引き受け、また九州各県支部も知人友人を通じてお願いしましたところ快く理解していただきました。これも永田理事長とお会いしノーマライゼーションの理念をして今後の活動に対しても決して焦らず強制的でもなく、自分たちができる事からできる範囲で活動していきましょう、と話されたことで九州地区本部、支部が設立できたものと思っております。

今後協会本部はもとより各県支部とも密に連絡をとり、様々なことを協議しながら親睦を深め、ノーマライゼーションの理念に基づき微力ながら活動していきたいと思っております。

「ノーマライゼーション」の講演会

「コマツユニオン」で実施

7月29日東京赤坂で「コマツユニオン」(小松製作所労働組合)主催、「ノーマライゼーションの理念」についての講演会を実施いたしました。

「コマツユニオン」の役員を対象に東京赤坂で講演会を行いました。永田理事長の挨拶の後、「聴覚障害者の立場から」をテーマに講演会を1時間にわたって行いました。講師には昨年三重県津市のNKK労働組合で好評だった森恭一氏を迎え、実体験を交えながらの説得力ある講演会でした。



コマツユニオンの皆様

講演の内容については本誌4号掲載の「講演会」聴覚障害者の立場から」とほぼ同じなので今回は割愛させていただきます。

7歳の時に内耳炎を患い完全失聴となった森さんは聞くことはできませんが、話すことは全く支障なく、熱のこもった講演に出席者全員が耳を傾けていました。

「コマツユニオン」の役員(一人は「今まで労働組合関係の講演ばかりだったので、とても新鮮で障害者の方の生の声を聴けたことは非常に良いことである。今後はこうした講演会の機会を増やし、一人でも多くの人たちに聴いてもらい、ノーマライゼーションの理念の普及に努めたい」と抱負を語っていました。

森さんの講演は2度目になりますが、とてもわかりやすく説得力のあるお話は聴いている人たちに深い感銘を与え、真のノーマライゼーションとはなにか、思いやりとはなにか、を改めて考えさせられるものがあります。当協会ではできるだけ多くの方々に聴いて頂きたいと考えております。

こうした講演会を開催したいと計画されている企業、組合、団体がございますら当協会事務局までお問い合わせください。参考までに森さんの講演テーマを紹介いたします。

森恭一氏の講演テーマ

- ・聴覚障害について
- ・ノーマライゼーションについて
- ・よりよい手話サークルについて
- ・親の役割、子の役割
- ・障害者の人権
- ・聴覚障害者の人権
- ・相談事例から思うこと
- ・ことばと手話との関わり
- ・聴覚障害者と医療



講師の森恭一さん

森さんは横浜市聴覚障害者協会顧問、湘南医療福祉専門学校非常勤講師などを勤める傍ら県内外各所で講演を行い、多忙な毎日をおこなわれています。講演を行う先々で当協会の会報を出席者の方々へ配布して頂いております。これまでに神奈川県立高校連絡会、横浜市英和学院中学、高校など20力以上の講演会場で当協会のPRをしていただきました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

ボランティア活動報告

障害者の介助・イベント運営のスタッフとして登録要員の皆様と活動を行っております

●横浜市長杯争奪ボウリング大会(6月28日)

視覚障害者33名が集まり白楽ボウルで市長杯争奪戦が行われました。競技を行う視覚障害者は全盲・中盲・半盲の3人が一組になり2ゲームを行い、各チーム毎の総得点で順位を競います。会場に集まったボランティアは特に全盲の競技者へのボウルの手渡しやスタート時の位置の確認など介助を行い、ゲーム終了後の得点計算などお手伝いしてきました。



ボランティアとの二人三脚

●盲人卓球大会(8月2日)

ライトセンターで視覚障害者12人による盲人卓球大会が行われました。リーグ戦方式で行われ4時間にわたって、球拾い点数表記入、競技者の誘導など

ボランティア活動を行ってきました。

盲人卓球大会の競技方法は以前本会報で紹介しましたが、ルールがかなりきびしく卓球を経験した晴眼者でも得点をとるのはとても難しく、かなり練習を重ねないとみんなと競技することは不可能である。とボランティア全員の一致した感想でありました。

尚この大会で勝ち残った上位4名は関東ブロック大会の横浜代表チームとして出場することになりました。



音の鳴るボールを使用して試合開始

晴眼者には普段気が付かない視覚障害者にとって不便なこと不都合なことが、二つのスポーツを通して沢山あることがわかります。実際に体験し肌で感じてみてわかる障害者の日常の不便さ不都合さ。一人でも多くの人たちが、こうしたボランティアに参加して頂ければ、より障害者を理解し日常街で出会ったときなど普通に接することができるのではないのでしょうか。

聴覚障害者のためのパソコン教室開催



インストラクターから説明を聞く聴覚障害者

聴覚障害者を対象とした第二回パソコン教室を手話通訳付きで4月から6月まで全12回開催しました。

聴覚障害者のコミュニケーションには手話や筆談またFAXなどがありますが、最近では手軽にさまざまな情報が入手できメールのやりとりが簡単なパソコン通信やインターネットが新たなコミュニケーション手段としてかなり注目されてきました。しかしそのためにはパソコンを操作することから始めなければなりません。

「パソコン教室に通いたい」という声がある聴覚障害者から聞き、今回横浜市聴覚障害者協会のご協力を得て手話通訳付きで開催することになりました。

鶴見駅前の教室を借りてスタートした初日は基本操作とワープロの講座。インターネットをするにしてもまず日本語入力をマスターする事が不可欠。受講生のほとんどが初心者ということもあつて慣

れない手つきで熱心にキーボードをたたき、質問は絶え間なく手話通訳を介してのインストラクターは戸惑いながらの忙しい初日でした。回を重ねる毎に講座はスムーズに行われ、時には手話通訳を介さずに受講生の質問に応えたりする場面も見られるようになりました。

インターネットの時間ではホームページの閲覧や受講生同士のメールのやりとりなど、とても楽しい雰囲気でした。時間を忘れるほど夢中で受講されていました。

受講生から「パソコン教室に通いたい」と思っている聴覚障害者は沢山いるのだが、手話通訳がないとどうしても遠慮してしまう。健聴者と同じペースで受講できない。今後もこのような教室を2回3回と続けて欲しい、ぜひ頑張ってください」と励ましのこぼれを頂きました。

当協会としては初めての試みでしたが、少しでも多くの聴覚障害者がパソコンを覚え、インターネットやパソコン通信ができれば、健聴者と障害者の区別なくだれもが気軽に情報交換できる。これはまさに当協会が取り組んでいるノーマライゼーションの理念に沿った、大変意義深いものであると確信しております。



手話通訳を介して学ぶ受講生

社会貢献型・自動販売機の設置にご協力ください

この潤いが
小さな社会貢献へ

この自動販売機は、利益の一部が下記団体へ寄付されます

JK ジャパン・カインドネス協会

全国障害者福祉援護協会

理事長 本田 正 045-411-0294 (代)



ジャパン・カインドネス協会

ステッカーのある自動販売機で缶飲料を購入すると、自動的に代金の一部がジャパン・カインドネス協会を通じて、全国障害者福祉援護協会に寄付され、障害者福祉活動に役立てられます。

是非この機会にJK協会指定の自動販売機の設置に、ご協力お願い申し上げます。



全国障害者福祉援護協会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
TEL:045-411-0294(代) FAX:045-411-0295

このステッカーを貼った自動販売機を設置します。

日本盲人会連合結成50周年記念式典に出席。感謝状を授与されました。

当協会の設立に際して心温まるご指導とご協力を頂きました社会福祉法人日本盲人会連合（日盲連）の村谷昌弘会長より「日本盲人会連合結成50周年記念式典」のご招待を受け、去る五月二十一日永田理事長が出席いたしました。

会場となった東京国際フォーラムには天皇・皇后両陛下がご臨席するとあって厳しい警護の中、全国各地の盲人団体代表など5,000人が集い、オーケストラの演奏とともに午前十時に開会式が行われました。君が代斉唱に続き各代表者の祝辞が述べられ天皇陛下のお言葉のあと大会宣言が行われました。

昭和23年視覚障害者ら70人余りが集まり日盲連は結成され、障害者運動の先頭に立ちさまざまな運動を展開し、障害者福祉の進展とともに歩んできたこの50年。村谷

車両財団より助成交付金100万円を頂きました

財団法人車両競技公益資金記念財団（車両財団）より「平成九年度ボランティア活動推進助成金」として100万円を頂きました。

この助成金で点字用プリンタ、スキヤナー、デジタルビデオカメラ、ビデオデッキなどを購入いたしました。視覚障害者用資料制作機材

会長は「21世紀を明るく希望のもてる世紀とするため、福祉を後退させてはならない」といっています。今回の式典に出席して微力ではあるものの当協会が少しでもその一端を担うことができると心新たに思う思いでありました。

またこの式典にあたり社会福祉振興の尽力に対し当協会へ感謝状が贈られました。



日盲連からの感謝状

として、番組取材用機材としてこれから大いに活用していきたいと考えております。

紙面をお借りして車両財団に厚く感謝申し上げます。



機材添付用ステッカー

文字で電話ができる「東芝メモ電話」

当協会の法人会員である(株)ウイズ福祉情報システムよりメモ送信が可能で「東芝メモ電話」の販売について協力要請がありました。

これは手書き入力のできる液晶画面を備えた携帯電話です。液晶画面に書いたメモをそのまま送受信できるので聴覚障害者にとって大変便利な電話です。またこのメモ電話から通常のFAXへ手書きメモを送信する事も可能です。もちろん通常の電話として通話もできます。

昨年、携帯電話の急速な普及は日常生活をはじめ多くの点で大変便利になり、成人のほとんどが所有している状況です。まさに情報化社会を象徴するものであります。しかしこれはあくまでも健聴者でのことであり、聴覚障害者にとっては何ら役に立っておりません。今回この「東芝メモ電話」が発売されたことは、情報障害者といわれている聴覚障害者にとって日常のコミュニケーション・伝達を容易にすることであり大変画期的なことでもあります。そして当協会が取り組んでいるノーマライゼーションの理念からしても聴覚障害者も健聴者と同じように情報伝達ができることは、大変意義深いものであると確信しております。

こうしたことから全国障害者福祉援護協会では、この「東芝メモ電話」を自信を持って推薦し、聴覚障害者の皆様の生活支援になればと

期待しております。

販売価格 74,000円
お問い合わせは当協会まで。



手書き入力ができる東芝メモ電話

尚この「東芝メモ電話」は当協会のすぐ近く神奈川県福祉プラザ・福祉機器展示場(かながわ県民センター13F)に展示されております。この展示に際して去る7月14日12名の審査委員による出展審査会が行われ、出展基準にみごとパスし展示されることとなりました。



明るい未来のために「ロッキー号」を走らせよう!

ふれ愛サポート 定期預金 ロッキー

ふれ愛サポート定期預金《ロッキー》は、県内の福祉団体等に福祉車両「ロッキー号」を寄贈するための資金源として活用する定期預金です。

お問い合わせは フリーダイヤル 0120-48-2828
神奈川県労働金庫

- 《ロッキー》はこんな定期預金です。
- お預け入れ期間 / 1年
 - 金 額 / 50,000円以上
 - 定期預金の種類 / スーパー定期(300)、大口定期
 - 金 利 / 店頭表示金利でお預かりします。



全日本ろうあ連盟へゴルフチャリティ金を寄付いたしました

5月18日に実施したチャリティゴルフ大会で集まりましたチャリティ金を財団法人全日本聾唖連盟に寄付いたしました。当日は連盟本部事務所次長の秋間尋子様に東京新宿より千葉市原市のゴルフ場までご足願しいパーティ会場にて金一封を寄贈いたしました。当日は強い雨が降る悪天候にもかかわらず遠い所お越し頂き誠にありがとうございました。



秋間尋子事務所次長へ金一封を寄贈

有限会社オフ企画より寄付を頂きました

7月20日都筑メモリアルホール圓通閣の落成披露パーティが開かれチャリティアトラクションで集まった収益金の一部を当協会会員である(有)オフ企画より寄付して頂きました。

(有)オフ企画はメモリアルホール圓通閣で葬儀以外にミニコンサ

ート、演劇、落語などを企画し、皆様が気軽に利用できる多目的ホールにしていきたい、と考えています。

中国地区本部よりチャリティゴルフの寄付を頂きました

6月28日岡山県金陵カントリークラブでチャリティゴルフコンペがおこなわれました。主催者の当協会中国地区本部長尾基司様よりチャリティ金を頂きました。ありがとうございました。

ザ・ワイルドワンス鳥塚しげきの

手話コンサート

去る4月鳥塚しげきのり子ご夫妻が協会に訪ねてくれました。鳥塚しげき氏は「思いでの渚」など数々のヒット曲で二世を風靡したザ・ワイルドワンスのメンバー。現在はグループで活躍する一方、ファミリーで「手話で歌おう」ミニコンサート」のライブをおこなっています。今回は当協会常任理事の橋本憲明氏の紹介で訪ねてこれ、衛星放送パーフェクトTV「福祉の時間」に出演していただくことになりました。

8月は「鳥塚ファミリーのライブ、手話で歌おう」9月は「手で遊び、手で話し、手で歌おう」の番組に出演しておりますので、是非衛星スカイパーフェクトTV216chをご覧ください。



法人化に向け申請書類を準備中

全国障害者福祉援護協会は設立から1年9ヶ月経過し、法人格を持たない民間団体としての特異性を生かし微力ながらも活動を展開してまいりました。これもひとえに皆様の温かいご支援とご協力があつたからこそ今日まで続けてこれたと感謝しております。法人格取得については設立当初から多くの方々のご意見やご指導がありました。それについて当協会としては初期3年間位は任意団体



鳥塚夫妻

尚、「鳥塚ファミリーのミニコンサート」手話で歌おう」のライブは9月20日(日)東京銀座座ケネディハウスでおこないます。

■お問い合わせ、お申し込みは鳥塚しげき事務所まで
TEL:03(3721)7411
FAX:03(3721)6639

として活動し、実績を積み方向を定めてからでも遅くはないと考えておりました。

ところが昨年末頃から地方支部の組織化、衛星放送への番組提供、各種福祉団体との交流などが急速に進展し法人化への取り組みが必ずの状況になってまいりました。

現在法人化に向け申請書類を準備しており、書類が整った段階で所轄官庁へ提出する予定で進めております。

チャリティBOX設置のご協力を



先般当協会理事である鈴木照明氏からチャリティBOXを作って欲しいとの依頼があり、さっそく製作することになりました。鈴木氏は川崎武蔵小杉駅から5分の「サライ通り商店街」の会長をされており、商店街各店にチャリティBOXを置き障害者福祉に少しでも役立てようと今回の提案が出されました。前後して各県支部や地元横浜中華街にも設置したらどうかの話もあり全国障害者福祉援護協会チャリティBOXを初回200個製作することになりました。

当協会ではチャリティBOXを設置していただける皆様には無料で配布しようと考えております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

日頃お世話になっております(社)横浜市聴覚障害者協会からのご案内です。

●手話狂言・横浜公演のご案内

平成十二年二月二十日(土)
昼の部 午後二時三十分 開演
夜の部 午後六時三十分 開演
会場 横浜能楽堂(横浜西区紅葉坂、県立音楽堂の近く)

入場料 一五〇〇〜四五〇〇(予定)

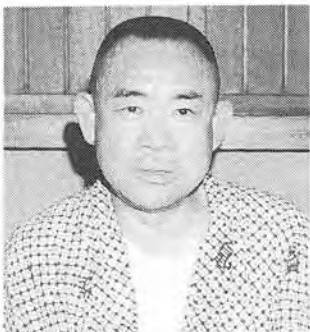
●この方に心当たりがありませんか
左記の方が、平成7年7月21日から行方不明になっております。
身元不明者の情報がありましたらご連絡くださいますようお願いいたします。

氏名 柄沢 勇(からさわ いさむ)

昭和14年1月7日生まれ(59歳)

身体障害者手帳2級の聴覚障害者で、「コミュニケーション方法として、手話及び筆談を使います。

いなくなった時の服装
白色スポーツシャツ、ブルーのスウェットズボン



柄沢 勇さん

■以上2件の詳しいお問い合わせは
社団法人横浜市聴覚障害者協会まで
TEL:045(475)2061
FAX:045(475)2112

「第4回手話教室・中級コース」開催

◇手話から学びよう◇

平成8年11月に手話教室を満員してから早4回目を迎えることとなりました。7月から始まった教室では中級コース、経験2年以上の受講生30名を対象におこなっております。講師は横浜市聴覚障害者協会から派遣していただいた米山良二氏。このコースになると単に手の動きだけではなく、顔の表情、身体の動きなどが要求されるので、表情がさほど豊かでない日本人にとってはなかなか難しいようです。聴覚障害者同士の手話は身振り手振り感情表現が豊かで、時には手話を使わず会話されているのを見かけます。うれしいうれしいとき、怒ったとき、悲しいとき遠くから見てもそれが見えたりとわかります。舞台劇を見ているような錯覚を起すときがあります。

手話を学ぶということは聴覚障害者とのコミュニケーション手段としてだけではなく、健聴者同士の会話にも役立つ要素がいくつも得られるような気がします。イエス・ノーがはっきりしないといわれている日本人。手話の要素を取り入れてコミュニケーションをしたらそんな誤解はなくなるのではないのでしょうか。

当協会でもっと多くの人たちに手話を覚えていただきたいと願っております。

現在講師を派遣していただいている社団法人横浜市聴覚障害者協会でも手話教室を開催しておりますので是非お問い合わせください。



横浜高島屋と共催で

【手話教室を実施】

来る9月より高島屋社員を対象に初級手話教室を開催します。今年の春横浜高島屋人事部より社員教育の一環として手話教室を開催して欲しいとの依頼があり、当協会と共催で実施することになりました。横浜、港南台、二子多摩川店からの30名の社員を対象に全15回行います。ここでは基本手話以外に「いらっしやいませ」「なにおさがしですか」など百貨店でよく使われることばを重点にカリキュラムを組んでいく予定です。横浜高島屋人事担当守安佳秋氏は「今回の講座で15回修了した受講生には店内で働きたい手話見習い中などの札をつけ、聴覚障害のお客様に二人でも多く接客できるようにしたい」と抱負を述べられておりました。

第3回チャリティゴルフ大会開催

雨にも負けず114名が参加

年2回開催しております当協会恒例のチャリティゴルフ大会。今回は川崎・千葉を結ぶアクアラインが開通したとあって千葉県市原市の「太平洋クラブ市原コース」にて5月18日開催しました。月曜日にもかかわらず万障繰り合わせて114名の方々にご参加いただき誠にありがとうございました。また午前中は雷雨の中ご健闘されお疲れさまでした。そして今回も多くの方から賞品をご提供いただき、参加者全員に贈ることができ改めて感謝申し上げます。

次回第4回は11月10日(火)



女子の部優勝者
大竹有紀子女士



男子の部優勝者
小林利行氏

神奈川県内での開催を予定しております。詳細は改めてご案内申し上げますのでご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

賞品をご協賛して頂いた皆様です

- ・(株)伊藤ビル
- ・NKK京浜製鉄所労働組合
- ・NKK本社
- ・NKK労連
- ・UCC
- ・大竹 有紀子
- ・大村貞雄後援会
- ・共栄冷機工業(株)
- ・キリンビール労働組合
- ・鋼管工業(株)
- ・日本コカ・コーラ(株)
- ・東京コカ・コーラボトリング(株)
- ・三國コカ・コーラボトリング(株)
- ・小保 トシ子
- ・佐藤商事(株)
- ・(株)サンエープロセス
- ・(株)三和電業社
- ・(株)しよういん
- ・(株)しよういん横浜
- ・(株)シンプリ
- ・全電通横浜支部
- ・全労済 神奈川県本部
- ・医療法人直源会相模原南病院
- ・(有)ティーワン
- ・東芝神静設備(株)
- ・並木やすお後援会
- ・西川知雄後援会
- ・日産豊和トラック事業部
- ・(株)豊和トラベルサービス
- ・牧島功後援会
- ・マツ・トレードサービス(株)
- ・(有) 関野商事
- ・(株) 村上義一商店
- ・森敏明後援会
- ・(株) 有徳社
- ・(株) ユニマツコーポレーション
- ・連合神奈川
- ・旭化成工業(株)
- ・(株) エイセキ
- ・エハラ食品工業(株)

簡便・省資源&経済的・清潔・安全

キンチャク式ゴミ袋

むすべるくん

「お問い合わせは」

株式会社 エコシステム

〒220-0801 横浜市中区磯子区 3-1-1

Tel. 0120-532963

ごみ袋の一大革命です。

簡単！

簡単！

簡単！

このごみ袋の売上金の一部は「全国障害者福祉支援協会」を通じて障害者福祉に役立てられています。



Sky Perfect TV216ch

「福祉の時間」番組表

1998 8 August

Calendar grid for August 1998 showing program schedules for JWTV. Days of the week are labeled at the top. Programs include '感動ライブプレス', '交流番組', '福祉情報番組', and 'シリーズ:音をみる旅'.

JWTV=日本福祉情報テレビは毎日21:00~22:00 1時間放送しております。番組名が変更になる場合もあります。

日本福祉情報テレビJWTVは現在、毎日、スカイパーフェクTV(216ch)で午後9時から10時の一時間無料放送を実施しており、福祉専門放送としての確立を目指してあります。近い将来放送時間を拡大し、障害者、高齢者及びその家族、福祉関係者として広く一般の方々にも興味を持っていただける番組のテーマ領域を拡大し、専門放送としての特化された番組ラインアップを実現する予定です。現在の限られた時間の中ではまず、聴覚障害者を対象とした番組を主体に番組制作を進め、耳の不自由な方々に手話又は字幕(オープンキャプション)で十分な情報伝達を果たしたいと考えています。現在、地上波で放送されているテレビ番組は、



JWTV 番組制作方針

編成局長 深田哲央

「一週間で約1000時間と言われていますが、そのうち字幕が付けられている番組は僅か25時間、全体の2.5%で、聴覚障害者の「知る権利」の主張に目が向けられていないのが現状です。高度情報化社会の今日、特にテレビ放送からの情報を受けられずにいる方々への情報提供は急務であり、その実践を果たしたいと考えております。番組のテーマについてはJWTV独自の考え方をもち、支持が得られる番組制作の体制を

「福祉」「障害者」ということを構えず、「基本的生活要求に応える番組」安心して暮らせる日常への提案」「社会的生活要求に応える番組」社会参加・共生社会の実現への提案「文化的・生活要求に定める番組」生きる喜びの模索と提案」の3領域を設定し、「情報系番組」「文化・教育系番組」「生活支援系番組」「教育系番組」「スポーツ・娯楽系番組」の番組枠での番組制作を推進いたします。21世紀のキ

「福祉」であり、時代の主要なテーマとなることを実感されていることであり、だれもが自分自身の問題としての意識を持つべき時であります。社会資本で賄われる社会福祉という概念にとらわれることなく、如何に健康で幸せな人生を営み、障害や年齢を問う前に思いやりのある人間関係を築き、誰もが喜び、悲しみを分け合える社会の実現をテレビメディアを通じて、その役割を果たしたいと考えております。そしてJWTVの番組が福祉文化の確立の一助となることを願っています。



Sky Perfect TV216ch

「福祉の時間」番組表

1998 9 September

Calendar grid for September 1998 showing program schedules for JWTV. Days of the week are labeled at the top. Programs include '感動ライブプレス', '交流番組', '福祉情報番組', and 'シリーズ:音をみる旅'.

ご協力ありがとうございます。 今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

このコーナーでは当協会の法人会員を
順次ご紹介いたします。

- (有)アイ・ケイ商事
- (株)愛木工業
- 旭硝子労働組合
- アサヒタクシー(株)
- (株)アルプス
- 石川島播磨重工業労働組合
- (株)伊藤ビル
- (株)ウィズ
- (株)エイセキ
- (株)エーディーエー
- NKK
- エヌケーケープラント建設(株)
- (株)大熊整美堂
- (株)オールウェズ
- 岡田会計事務所
- カサイ産業(株)
- 神奈川県労働金庫
- 川崎製鉄健康保険組合
- 川崎製鉄労働組合連合会
- 関東オートグラス(株)
- キリンビール労働組合
- (有)クオーク
- (株)クラスター
- グリーン・ワールド(株)
- 鋼管ドラム(株)
- 交通労連関東地方総支部
- 日本コカ・コーラ(株)
- 興南設計(株)
- 小松製作所労働組合
- (株)サーヴ
- 栄家工業(株)
- 医療法人直源会 相模原南病院

- (株)サンエープロセス
- (株)ジェイ・エスエス
- (株)しょういん
- (株)しょういん横浜
- 湘南交通(株)
- 新日本製鐵労働組合連合会
- (株)シンプリ
- 鈴江組倉庫(株)
- 住友重機械労働組合連合会
- 全国造船重機械労働組合連合会神奈川地協
- 全国電気通信労働組合横浜支部
- 全日産・一般業種労働組合連合会
- 全民懇ボランティア基金
- 全労済神奈川本部
- (株)創土社
- (有)大社運輸
- 多摩川ハイヤー(株)
- (有)ディーキャット
- 東京電力労働組合神奈川総支部
- 東芝労働組合
- 東邦薬品(株)
- 東北日商(株)
- (株)富世
- トヨタ自動車労働組合
- 日青鋼業(株)
- 日本鋼管福山製鉄所労働組合
- 日本携帯電話サービス(株)
- 日本健康ファミリー共済
- 日本鋼管京浜製鉄所労働組合
- 日本鋼管工事(株)
- 日本鋼管鶴見労働組合
- 日本鋼管津労働組合

- 日本鋼管本社労働組合
- 日本鋼管労働組合連合会
- 日本鉄鋼産業労働組合連合会
- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会
- (株)エコ・システム
- 日立製作所労働組合
- 日の丸交通(株)
- 不二交通(株)
- 富士交通(有)
- プリヂェストン札幌東タイヤセンター(株)
- プリヂェストン労働組合
- (株)プロジェクト美樹
- 平和交通(株)
- ベターライフテレビ(株)
- (株)マーク・テック
- 松岡興産(株)
- (株)マネジメントサービス
- 丸全昭和運輸労働組合協議会
- 三井造船労働組合連合会
- 連合・造船重機労連・三菱重工労働組合
- (株)村上義一商店
- (株)メイショウ
- (株)メディウエル
- (株)有徳社
- (株)ユニオン
- 横浜環境保全(株)
- (株)リアルエステート・エイジェンシー
- 竜童建設(株)
- ワークス横浜(株)
- (有)ワールド・ネット・システム
- 浜本建設工業
- 安田産業(株)

全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

編集後記

今年はやたらと雨が多く例年になく蒸し暑い夏だった。と思えば急に秋のような肌寒い日もあった。去年のことはすっかり忘れ毎年同じことを繰り返しているような気もしないではないが、地球温暖化の影響ではあるまいかとかなり深刻に考えてしまう。環境破壊などひとりひとりが自覚を強く持たないとますますひどくなりそうだ。全てに対して「思いやり」を大切にしていきたいものです。

T.S.

法人会員 1口 5,000円/月
個人会員 1口 1,200円/月

指定の「加入申込書」にご記入の上、当協会までお申し出ください。
お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局

TEL:045-411-0294
ヨイヒト ワラクシ



CHALLENGE21第5号

発行者:全国障害者福祉援護協会
編集人:永田 近
発行日:1998年8月31日第5号
所在地:〒221-0835
横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295
定 価:200円

<h4>シンポジウム・イベントの開催</h4> <p>各種イベント等を通じ、ノーマライゼーションの理念の普及を行います。</p>	<h4>障害者団体への寄付</h4> <p>障害者団体等への、寄付を定期的に行います。</p>	<h4>高齢者福祉活動</h4> <p>高齢化によって障害をもった方への福祉活動を行います。</p>
<h4>ボランティア活動の支援</h4> <p>ボランティア活動に参加・支援します。</p>	<h4>各種研究活動</h4> <p>バリアフリー社会を目指し、障害者用の住宅、公共施設等の研究活動を行います。</p>	<h4>広報活動</h4> <p>広報誌の発行、出版等を行います。</p>